

共に生きていくために

原竹 小遥

私の弟は、自閉症という発達障害で、人とのコミュニケーションが苦手です。家族である私でさえうまくいかず、私はよく弟に強くあたってしまうことがあります。

自閉症には、自分だけのこだわりがあり、それをじゃまされると、とてもおこってしまう特性があります。弟は、テレビ番組やおもちゃの置き方にこだわりがあり、私が見たいテレビ番組に変えると、よく暴れています。そんな時、わたしは「うるさい!」と強く言うことがあります。後でこうかいてももうおそく、けんかになってしまいます。そこで私は、家族にすすめられた東田直樹さんの「自閉症の僕が跳びはねる理由」という、自身が自閉症でもある方の本を読みました。そこには、自閉症の本人ならではの物の見え方や感じ方が書いてありました。本の中で心に残ったところは、「刺すような視線」という章です。筆者が、電車の中で人とちがう行動をした時に周りから冷たい視線をあび、つらい思いをした経験が書かれていました。私自身も、授業で失敗した時にみんなから冷ややかな視線をあびて悲しい思いをしたことを思い出しました。それぞれのちがいを認め合い、だれもが安心して生きられる世界になってほしい。そう思ったきっかけとなりました。

障害がある人もない人もだれもが周りの目を気にせず安心して生活するために、一人ひとりの個性を尊重して、相手の立場になって考えることが大切だと思います。私の思いは、SDGsの16番、「平和と公正をすべての人に」というゴールにつながっています。そのために私に今できることは二つです。まずは、自閉症について自分が調べたことをみんなにも知ってもらうこと。うまく言葉にできず暴れても、ゆっくり気持ちを聞くと、思いが分かります。私も、弟の気持ちが伝わりとなんだかほっとします。そして、もう一つは、私の周りにいる人たちにも、身近にいる人の個性を認めることの大切さを感じてもらうこと。

今、あなたの周りにいる人々を思いうかべてみてください。障害のある人、ない人、得意なことや苦手なこともみんなちがう、仲間たちです。だれもが自分らしく生きられる世界は、とてもすてきだと思いますか。



日光修学旅行(6年) 7月13日(木)～14日(金)

最近自然にあまり触れていなかった
ので、ハイキングが久しぶりでした。
空気がとてもおいしかったです。景色
が開けて太陽が降り注ぐところが気持
ち良かったです。

日光東照宮はとても豪華で、昔の時
代にこんな建物が作られたことに驚い
きました。

1組児童

僕は、華厳の滝が心に残っています。自
分がいる場所にまで水飛沫がたくさん飛
んできて驚きました。日光東照宮は、帰っ
てからもっと詳しく調べてみると、他にも
見なかったところがたくさん残っている
ことが分かりました。今度は家族で行って
みたいと思います。

1組児童

階段の途中で日光東照宮を見渡す
と、そこら中に金箔の豪華な装飾が施
されていました。すごくきれいだった
です。他には、鳴龍の顔の下で音を鳴ら
すと、鳴龍が鳴いているように聞こえ
るという仕組みがおもしろく、どのよ
うな造りになっているのか気になりま
した。

2組児童

楽しかったことは、部屋レクです。
部屋での時間を通して、普段はあまり
話さない人たちとも少し仲良くなれた
気がしました。東照宮での見学では、
説明が書いてあるところをよく読んで、
歴史を学びました。2日間あっとい
う間に終わった気がしました。

1組児童

私は、戦場ヶ原のハイキングで、自然が
いっぱいだったことが心に残りました。自
然に夢中で、疲れをあまり感じませんで
した。初めての体験で、とても楽しむことが
できました。

怪我無く安全に終わることができてよ
かったです。

2組児童

華厳の滝は勢いが強く、迫力があ
りました。戦場ヶ原のハイキングで見た
湯滝は、華厳の滝よりも流れが穏やか
でした。

宿舎の近くの源泉で10円玉を洗う
と、きれいになったことがすごかった
です。

2組児童



閉校・統合 情報コーナー

(教職員関係) 9月20日(水)に開催を予定している児童イベントに向けて、校内で会議を行いました。また、閉校記念誌作成についても、教職員で分担し、原稿作成を進めています。

(保護者交流) 7月13日(木)に、阿久和小でPTA・AHK 統合会議を行いました。来年度のPTA組織のあり方や役員体制などについて話し合いがもたれました。

通学路に関わる工事のお知らせ

第二阿久和三家橋補修・補強工事(阿久和地区センター近く)が、9月初旬～12月末日まで実施されるとの連絡が入りました。片道相互通行となるため、渋滞を避けるために、松陽高校正門近くに通じる道が抜け道になり、交通量が増える可能性があるとのこと。そこは、三家地区の方の通学路となっています。お子さんに気を付けて登校するようお声掛けください。